

JAにしゅうわ

中期経営計画 進捗状況報告

令和8年3月末現在

創造と挑戦

Creation and Challenge



**STEP UP
Plan
2025-2027**

JA西宇和は「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする自己改革の実践に取り組んできました。

これまでに、青果物の販売チャネルの充実とこれに対応した高品質果実の安定生産に取り組んできましたが、新たに生産者とのデータ連携システムの運用に向け、進めています。また、生産資材等の安定的供給と価格の抑制、担い手支援・担い手確保などを継続的に取り組み、広域選果場建設においても令和8年10月稼働に向けて順調に進んでいます。

この結果、多くの組合員から一定の評価と自己改革への一層の期待を感じており、今後ともJA西宇和は、地域になくてはならないJAであり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んでまいります。



農業者の所得増大



農業生産の拡大



地域の活性化

新規就農者（I・Uターン）の確保・優良園地の維持・次世代継承／農作業支援の充実／管内生産農家戸数・栽培面積の維持

■ 栽培面積 温州：1,306ha 中晩柑：1,008ha

重点実施事項	2026.3月末具体的取組進捗状況	目標値
1. 担い手支援	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度は表年という事もあり、21,060人役/年のアルバイトの受入れをしました。 ●農作業支援は7名体制で1,694人役/年の支援を行いました。 	アルバイト事業 20,000人役/年 JA農作業支援事業 1,750人役/年
2. 担い手確保 Iターン就農者 事業継承者数 3名/年	<ul style="list-style-type: none"> ●相談会への出店を6回行い40名の面談者があり、2名の農業体験の受入れがありました。研修生は6名、令和8年度に4名が就農予定です。 ●現在1.5haの栽培管理を実施、R8年4月に1.1haを研修生に引継ぐ予定です。 	体験 ……………5人/年 研修生 ……………2人/年 新規就農・事業継承 …3名/年

高品質安定生産への取組強化と市場出荷量の確保・補助事業の有効活用による軽労働化／協力組織会員の維持と活動の活性化

■ 生産量 温州：35,000t 中晩柑：14,000t ■ 市場出荷量 温州：30,000t 中晩柑：13,000t
 ■ 協力組織の連携強化 活動回数：20回/年

重点実施事項	2026.3月末具体的取組進捗状況	目標値
1. 市場出荷数量の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的な山回りを実施、「ライン」や「にまる」を活用し情報発信を行いました。 ●改植促進では、国の改植事業とJA果樹活性化事業で温州、中晩柑合わせて18.22haの実績となっています。 ●マルチドリップは20ヶ所6ha、マルチ被覆は302haの実績となりました。 ●肥料助成として137,598袋に1袋50円の助成を行いました。 ●21,208袋/年の石灰資材の施用実績となりました。 	営農指導員定期園地回り 1回/週 改植 温州みかん35,000本/年 中晩柑 25,000本/年 マルチドリップ …20園地/年 マルチ被覆面積 …300ha/年 石灰資材施用袋数 30,000袋
2. 補助事業の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ●園内道10園地、個人スプリンクラー11園地、単軌道整備47園地、点滴灌水20園地を実施しました。 ●104の園地で38kmの防護柵整備を実施しました。 ●年間2,041頭のイノシシと72頭のシカを捕獲しました。 	補助事業対象農家数 125園地 鳥獣害対策取組園地 150園地
3. 協力組織の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ●令和7年度の同志会会員数は320名で研修会は2回開催、食育活動は7ヶ所で実施しました。 ●消費拡大PRを3回/年実施、オレンジデー、伊予柑、首都圏の量販店での試食PR販売を実施しました。 	研修会の開催 ……3回/年 食育活動実施 …5ヶ所/年 消費拡大PR ……2回/年
		研修・講習会 ……4回/年 PR活動 ……………3回/年 マイスター研修 …3回/年



重点実施事項	2026.3月末具体的取組進捗状況	目標値
1. 経済部門供給高の確保 3,348百万円	● 肥料供給高603百万円、農薬供給高1,361百万円、生産資材283百万円、石油製品926百万円の実績となりました。農薬は価格の見直しを行い予約注文増加を図るとともに、年間予約購入者に対しては1%の還元措置を実施しました。	令和9年度供給実績目標 肥料……………617百万円 農薬……………1,318百万円 生産資材……………270百万円 石油……………961百万円
2. 生活部門供給高の確保 1,152百万円	● 店舗・主食供給高311百万円、耐久・電器供給高60百万円、日用雑貨供給高92百万円の実績となりました。店舗については年間2%程度客数の減少、耐久・電器では、石碑・パソコン・補聴器等の好調で計画を達成しました。愛飲ジュースの実績は年々減少傾向の中、価格の上昇で目標に到達しました。	令和9年度供給実績目標 店舗・主食………276百万円 耐久・電器………55百万円 日用雑貨………88百万円

青果販売部

共販率向上による長期安定供給の確立と選果場事務処理の効率化／委託荷造り体制整備と選果場施設の有効活用

■ 果実販売高 温州：100億円 中晩柑・落葉：50億円

重点実施事項	2026.3月末具体的取組進捗状況	目標値
1. 長期安定供給の確立	● 各品種とも問題なく荷造りができました。今年度より各スマル品目、格外2を撤廃し、等級指数を設けました。 ● 生産基準を上げるため、夏期マルチ支援を行い、高品質な商品ができました。 ● 今年度より共選だよりを年6回発行し、生産状況、販売状況の報告、市場担当者の紹介等、情報の共有に努めました。 ● 令和9年度開始に向けて家庭選別代行・集荷代行のモデル事業の検討を進めています。	市場出荷数量 温州みかん……………30,000t 中晩柑……………13,000t
2. 小売宅配数量の増大	● 旬感便冬号の売上が前年対比112%の実績、クレジット決済、WEB決済(PayPay)、コンビニ決済の導入によりWEBでの注文比率が65%と大幅に上昇しました。	令和9年度供給高 500百万円/年
3. 荷造り経費の節減	● 令和7年産の受入れ数量(加工含む)は44,600tで予想を大きく上回る結果となりました。今後は広域選果場の処理能力を見ながら中晩柑の広域選果場への集約を検討しています。	生産者データシステム構築 令和8年度導入予定
4. 共選(施設)再編	● 広域選果場工事は令和8年10月稼働に向けて順調に進んでいます。 ● 2月26日に共選再編委員会を開催、今後は共選毎にヒアリングを行います。令和8年9月と令和9年3月に中間での検討を行う予定です。	共選運営委員会検討 随時

金融部
調達

生活メインバンク機能強化による経営基盤の安定化

■ 総貯金残高目標 1,522億円

重点実施事項	2026.3月末具体的取組進捗状況	目標値
1. 情報収集による個人貯金の純増 1,320億円	● アプリプラス獲得件数109件の獲得 ● MA獲得定期貯金実績3,716百万円(82.6%)、個人貯金残高1,298億円(98.3%)の実績となっています。	定期貯金獲得 45億円/年
2. 年金保有対策年金口座件数 8,800件	● 年金予約リスト3,507件中1,872件の訪問を実施し、153件の予約獲得ができました。 ● 年金指定替えリスト2,062件中1,180件の訪問を実施し、97件の指定替えができました。	年金予約獲得 250件/年 競合他社からの指定替 150件/年
3. FD原則に拠る推進活動	● FD原則2.(1)の③「金融商品の販売においては商品の特性、想定する販売対象の適合性を十分に行い、自らの責任で金融商品の販売を行います」を追加しました。	組合員・利用者本位の 業務運営

金融部
資金運用

組合員利用者のニーズに合った各種ローンの提案と営農部門との連携によるニーズに合った農業資金の提案／収益力の強化・安定化

■ 総貸出金残高 8,500 百万円

重点実施事項	2026.3 月末具体的取組進捗状況	目標値
1. ローン及び農業融資の強化 証貸残高 80 億円	● 農業メイン強化先訪問では83件中83件の訪問を実施し、農業融資新規実行額は1億9,771万円の実績となりました。	農業融資新規実行額 200 百万円
2. 余裕金運用 有価証券残高 貯証率 13%以上	● 令和7年度購入計画20億円に対し買戻しによる33億円と上期5億、下期5億の合計10億の購入、有価証券利息は238百万円となりました。現在の貯証率は10.0%となっています。	有価証券利息 300 百万円/年

共済部

「組合員・利用者本位の業務運営（FD原則）」の実現と事業実施基盤・経営基盤強化／共済事業基盤の確保

■ 契約者人数 22,000 人

重点実施事項	2026.3 月末具体的取組進捗状況	目標値
1. 組合員・利用者本位の事業運営（FD）	● 3Q訪問ではL A・スマサポ・一般職員による活動を実施し、16,644件の実績となりました。	3Q訪問活動人数 22,000 人/年
2. 推進総合 7,310,000 P	● 新仕組がん共済を中心に質問型推進を実施し、826,022 Pの実績となりました。 ● 災害への備え、建築費高騰に対するアプローチを行い、687,232 Pの実績となりました。 ● 短期の日、見積キャンペーンによる新規契約獲得を行い、657,641 Pの実績となりました。	ひと基準実績 925,000 P いえ基準実績 465,000 P くるま基準実績 600,000 P
3. 事業の効率化 Webマイページの登録	● L A・スマサポを中心に訪問時にWebマイページの推進を行い累計で2,899人（12.7%）の登録をいただきました。 ● 新任担当者に現場急行研修会を実施しました。2月末時点で現場急行実施率96.2%となっています。	Webマイページの登録率 23% 現場急行率 90%以上

総務管理部

総務企画・人事・経理電算・リスク管理

J Aの活性化への取組強化

■ 自己資本比率 23.5%

重点実施事項	2026.3 月末具体的取組進捗状況	目標値
1. 組合員数の増加と次世代対策 組合員数 9,600 人	● 年間で女性新規組合員は136名の加入をいただきましたが3,405名と減少、構成割合は33.4%となりました。 ● 令和7年度は支店祭りは予定通り開催、地区別座談会も11会場で開催、年明けには明日の果樹を語る会も開催し、要望についても意見交換を行いました。	女性組合員比率 33% 座談会・イベントの開催 1回/年・各事業所
2. 安定した事業継続・職場の活性化	● 令和7年度は、中央会研修に58名が参加、職員認証試験では初級が8名受験し2名、中級が9名受験し2名、上級が6名受験し4名が合格しましたが合格率は34.8%にとどまりました。 ● 今年度ホームページをリニューアルし、情報発信を強化しました。「職員紹介制度」「職員復職制度」の導入を検討します。令和7年度は新卒3名（男2名・女1名）の採用がありました。	新規採用人数 10 名

施設・業務体制整備計画

1. 信用共済業務

信用店舗	県域合併の休止にとめない、金融部および共済部の統合、事業本部制の導入を令和10年4月の実施に向けて検討中です。併せて八幡浜支店の本店統合についても検討中です。
共済業務	3Q訪問チャネル別の目標を設定し、契約者に対し寄り添った活動を実施しました。またL A、チャレンジ職員の推進ができるよう一般職員に対して情報提供制度の定着化を図り、3Q活動で前年を大きく上回る実績を挙げることができました。
	現場急行サービスの定着化を図るため、新任L A、担当者への研修会を実施、現場急行率の対応満足度を引き上げることができました。

2. 販売業務

(1) 業務体制整備

家庭選別代行、集荷代行モデル事業の実施	令和9年度事業開始に向けて家庭選別代行・集荷代行のモデル事業の検討を進めております。輸送部の検討においてもえひめ物流と連携し、検討を進めます。
直販事業における各共選からの仕入れ拡大とウェブでの受注強化	旬感便冬号では、電話注文からWEBでの受注が約26%増加し、約65%がWEBでの取り扱いとなりました。支払方法も代金引換、クレジットカード、PayPay、コンビニ決済等、多様になりWEB発注の特典を推進していきます。次年度LINEの利用も進めていきます。
業務フローの見直し等による業務の効率化、選果場職員の労働環境整備	プロジェクト会で10項目の内容を検討し、6項目の改善を行い、問題なく運用できています。残りの4項目については、令和8年度以降の課題として検討を進めていきます。
生産者とのデータ連携システムの構築	令和7年産の受入数量（加工倉）は44,600 tと平成25年に次ぐ数量となり、予想数量と大きく乖離をしました。今後も事務所長と営農指導員の連携を強化し、データ連携システムの構築を進めていきます。

(2) 施設・再編

広域選果場の稼働能力に併せた次期再編の枠組みと流通センターの方向性の決定	富士柿でパレット輸送試験を行いました。令和7年よりキウイフルーツのJAえひめたいきへの委託選果を開始しました。また共選再編委員会において流通センターの運用の検討を開始し、令和9年7月を目途に方向性を判断していきます。
--------------------------------------	--

3. 購買業務

生活小店舗の再編整備	喜須来店舗を令和8年2月末で閉店し、移動購買車の拠点を舌田と日土の2か所へ移転して運行をしています。他の店舗については、収益性、効率性等を考慮しながら次期の再編について継続して検討を行います。
給油所施設の再編整備	県域会社整備構想案について全農エネルギー部門と継続的に意見交換を行い検討をしています。一方で県域JA構想が白紙となり、JAにしようとして地域性、収益性、効率性を考慮したうえで次期再編案を継続的に検討していきます。
農機具センター整備	地元業者と連携し事業検討会を2回実施しました。今後は地元業者と「競合」から「共生」へシフトし農家サービスの提供に当たります。また農機担当職員を全体で1名増員し、11名体制でサービスの充実を図ります。
生産資材店舗の再編と効率化	JAグリーンを一部改装し、農機、肥料、農薬、土農工具、作業用品等を効率よく配置し、機能的でアクセスしやすい店構えを予定しています。また、LINE機能を活用した情報発信を計画しており、生産資材等の商品内容や特売等の情報をいち早く発信できるように準備を進めています。

4. 営農・農業経営

R9園地再編整備事業園地の固定化した研修園地としての活用	事業工期は令和7年度から11年度の5年間、令和7年度に測量設計、令和8年度に測量設計及び工事開始予定、圃場については令和8年度末に完成予定（植栽は9年度末予定）で行政機関と連携をしながら継続的に体制を整えていきます。
------------------------------	--

中期経営計画（STEP UP Plan2025-2027）取扱事業実績

（単位：千円）

項 目		令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	令和9年度計画	
信用事業	調達	貯 金	150,219,210	148,206,517	149,316,656	152,200,000
		借 入 金	0	0	0	0
	運用	預 金	119,064,000	124,802,000	117,064,000	120,633,000
		有 価 証 券	17,921,000	14,875,242	16,875,000	21,000,000
		貸 出 金	8,788,436	8,470,185	8,500,000	8,500,000
共済事業	長期共済新契約高		7,920,000	8,759,005	7,920,000	7,920,000
	長期共済保有高		277,260,000	279,294,850	277,260,000	250,227,150
	年金共済新契約高		26,000	20,928	27,500	26,000
	年金共済保有高		3,221,000	3,226,660	3,100,000	3,000,000
	短期共済掛金額		754,250	756,678	754,250	754,250
購買事業（供給高）	生産資材	肥 料	591,157	602,617	561,472	617,397
		農 薬	1,340,242	1,360,765	1,328,798	1,318,718
		農 機	172,698	179,744	170,049	180,491
		燃 料	1,022,813	925,703	900,603	961,026
		その他生産資材	257,545	283,475	251,310	270,818
	生活資材	店 舗	275,856	268,754	246,846	245,812
		主 食	22,917	42,255	41,208	20,507
		電 器 製 品	27,881	31,146	26,983	28,886
		耐 久 資 材	25,398	32,140	29,995	26,346
		日 用 雑 貨	90,051	92,454	84,938	88,004
		L P G	245,100	238,682	232,624	229,650
		その他生活資材	464,363	496,405	467,087	513,035
	合 計		4,536,021	4,554,140	4,341,913	4,500,690
	販売事業	温 州		11,217,000	14,018,446	10,038,250
中 晩 柑		4,651,900	4,481,383	4,466,400	4,455,000	
落 葉 他		352,100	181,966	287,500	345,000	
合 計		16,221,000	18,681,796	14,792,150	15,500,000	

J A にしうわでは、組合員の皆様から自己改革に対する取組に対するご意見を求めています。

これまでの取組をご理解いただくとともに、改善すべきこと、要望等がありましたらご意見をください。皆様のご意見をもとに、更なる自己改革につなげていきます。

引き続き、J A にしうわの事業や様々な取組にご理解・ご協力をお願いいたします。



TEL : 0894-24-1111 (代表)

FAX : 0894-24-7506

E-Mail : janu001@ja-nishiuwa.jp